

令和5年2月14日

保護者の皆様

仙台市立宮城野小学校
校長 鈴木 伸茂

令和4年度「教育活動に関するアンケートの結果」について

向春の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。

いよいよ、6年生は3月17日（金）に卒業式を、また、他の学年も24日（金）に修了式を控え、それに向かって各学年最後の学習のまとめに取り組んでいるところです。

さて、12月に実施いたしました「教育活動に関するアンケート」につきまして、その結果をまとめましたのでご報告いたします。保護者の皆様には、ご多用の中、調査にご協力をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

☆ 実施日 令和4年12月9日（金）～12月19日（月）

☆ 対象者 仙台市立宮城野小学校 児童・保護者の皆様・教職員・学校運営協議会委員の皆様

1 令和4年度の協働型学校評価重点目標について

「協働型学校評価」とは、重点目標を設定し、学校・家庭・地域の三者が、児童のよりよい姿の実現に向け協働しながら取り組み、その成果を確かめ改善活動を継続的に実施していくという取組です。

今年度は下記の事項を重点目標として、取り組んでまいりました。

協働型学校評価の重点目標

○基本的な生活習慣（挨拶・言葉遣い・早寝・早起き・朝ご飯・返事）を身に付ける。
（目標達成率80%以上）

○安全に気を付けて行動する（事故0）

交通安全、災害安全に対して正しい知識を持ち、必要な態度や行動を理解し、もしもの時に、自分で判断し行動できる。

重点目標実現のための三者の改善活動

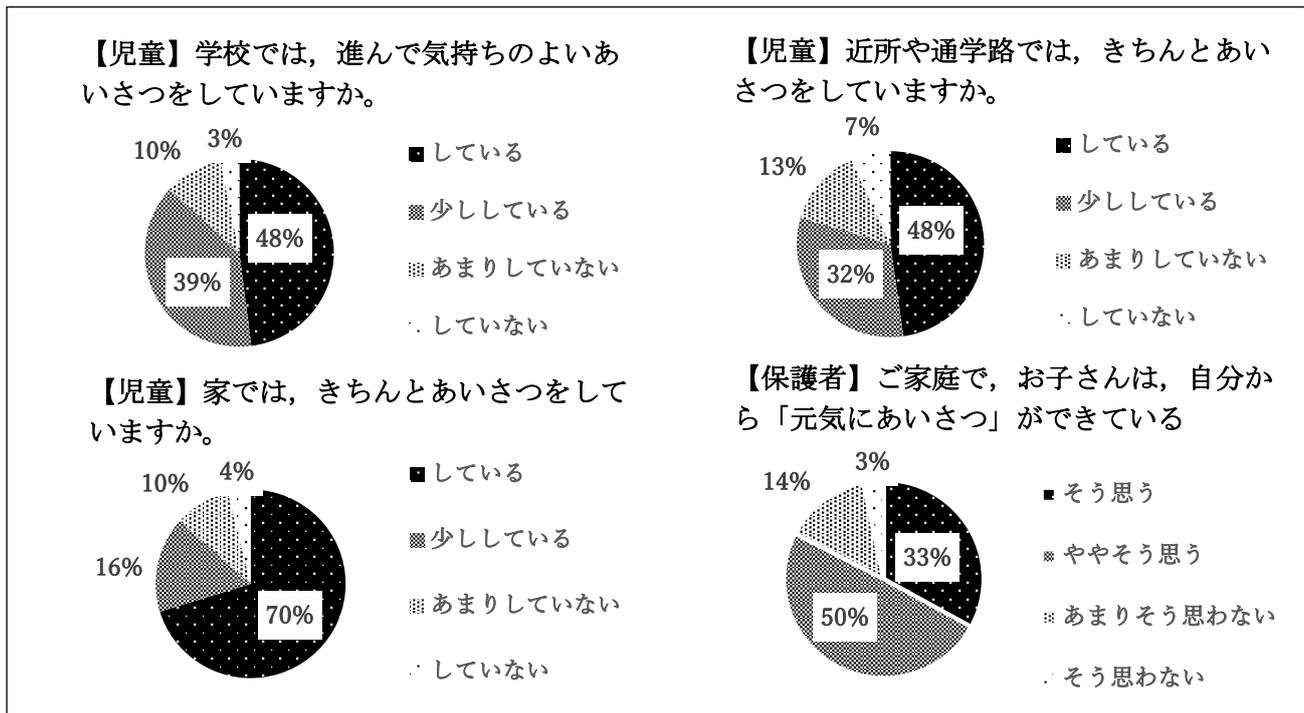
学 校	家 庭	地 域
○学校 ・中学校と連携し「あいさつ運動」や「いじめ防止キャンペーン」へ参加し、主体的に取り組む。 ・全ての教育活動の中で指導する。 ・「安全指導の日」「防災の日」を設定し、登下校の安全や災害から身を守るための知恵を身に付け、意識の向上を図る。	○家庭 ・親子の触れ合いを深め、家族ごとに目標を明確にして積極的に取り組む。（早寝・早起き・朝ご飯・挨拶・返事） ・子供が事故や事件に巻き込まれないよう声掛けするとともに、放課後の子供たちの様子を見守る。 ・「地域をあげて子供を守ろう委員会」による活動を継続する。	○地域 ・機会を捉えて、子供たちと挨拶を行う。 ・地域行事の際や地域で遊ぶ子供たちの様子を見守り、必要に応じて指導、支援する。 ・大人自らルールを守り、模範を示す。

2 結果のまとめ

(1) 「基本的な生活習慣（挨拶・言葉遣い・早寝・早起き・朝ご飯）を身に付ける」について

児童アンケート【学校では、進んで気持ちのよいあいさつをしていますか】【近所や通学路では、きちんとあいさつをしていますか】【家では、きちんとあいさつをしていますか】は、児童の挨拶についての自己評価を示す項目です。「そう思う」「ややそう思う」を合わせて80%以上の児童が、挨拶をしていると考えています。

保護者アンケート【ご家庭で、お子さんは、自分から元気にあいさつができています】についても、「そう思う」「ややそう思う」を合わせて80%以上となっており、取組の成果が上がってきていると考えます。

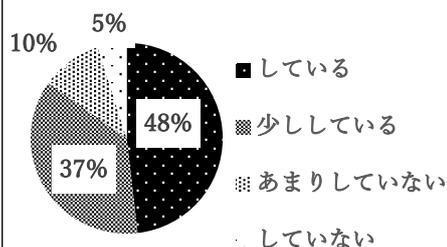


挨拶については、昨今、不審者等についての不安もありますので、学校では「顔見知りの大人や防犯パトロールの腕章をつけている保護者の方々、教職員、校舎内ですれ違うお客様等」と、安心して接することのできる大人を対象にして、挨拶ができるように指導を重ねてきました。保護者の記述欄からは、各ご家庭で挨拶の大切さについてお子さんに教えていることが読み取れます。

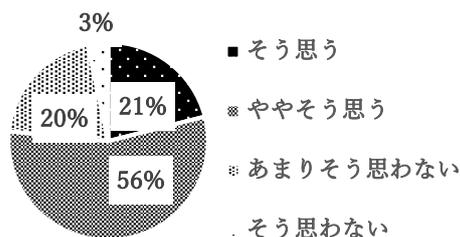
コロナ禍の影響で、直接、地域や保護者の方と接する機会が少ない状況ではありますが、学校では、日常の指導に加え、道徳や学級活動でも継続して挨拶についての指導を重ねて参りますので、保護者の皆様も、お子さんとの会話の中で、顔見知りの地域の方々、防犯パトロール中の保護者の方々や教職員への挨拶について、継続して話題にしていいただければと思います。

児童アンケート【言葉づかいに気をつけて生活していますか】は、児童の言葉遣いについての自己評価を示す項目です。「そう思う」「ややそう思う」を合わせて85%の児童が言葉遣いに気をつけて生活していると考えています。一方、保護者アンケート【お子さんは、言葉遣いに気を付けて生活している】では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせて77%、教職員からみた児童の言葉遣いについては「ややそう思う」が68%と、児童の評価より低くなっています。児童は、学校で言葉遣いに気を付けている一方、ご家庭においては、乱暴な言葉が増えるなど、意識が低くなるようです。また、児童の意識と大人の意識に差があるようなので、今後も学校とご家庭で協力して声掛けをしていき、言語環境を整えていきたいと思います。

【児童】言葉づかいに気を付けて生活していますか。



【保護者】ご家庭で、お子さんは、言葉遣いに気を付けて生活している。



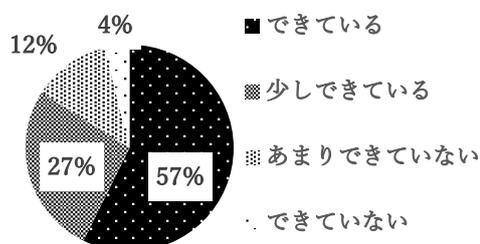
【先生】当校の子どもは、言葉遣いに気を付けて生活している。



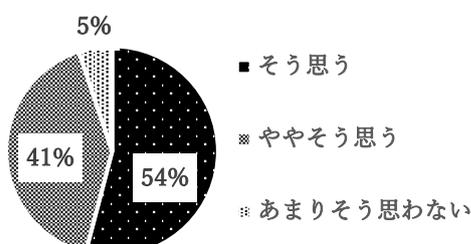
児童アンケート【早寝・早起きを心がけ、朝ごはんもきちんと食べていますか。】は、「早寝・早起き・朝ご飯」など、基本的な生活習慣についての自己評価を示す項目です。「そう思う」「ややそう思う」を合わせて84%の児童が、基本的な生活習慣に気を付けて生活をしていると考えています。保護者アンケート【ご家庭で、お子さんに基本的な生活習慣を身に付けさせるための取組を行っている】では、「そう思う」54%、「ややそう思う」41%、合わせて95%のご家庭が基本的な生活習慣を身に付けるために取り組まれていることがわかります。教職員アンケートでも、「そう思う」「少しそう思う」合わせて82%がおおむねできていると考えています。

本校児童が落ち着いて学習や学校生活を送ることができるのもご家庭での取組のおかげです。「早寝・早起き・朝ご飯」は、一日の生活のリズムをつくる上で基本となりますので、今後ともご協力をお願いします。

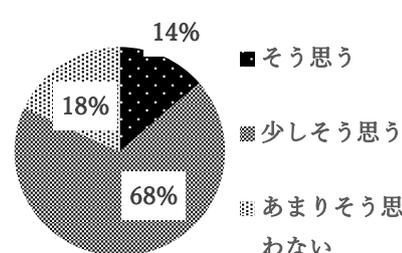
【児童】早寝・早起きを心がけ、朝ごはんもきちんと食べていますか。



【保護者】ご家庭で、お子さんに基本的な生活習慣を身に付けさせるための取組を行っている。



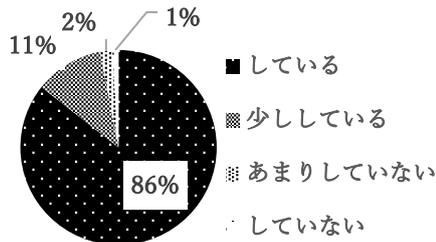
【先生】当校の子どもは、「早寝・早起き・朝ご飯」ができている。



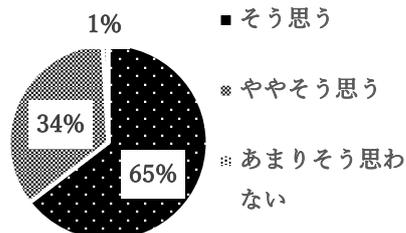
(2) 「安全に気をつけて行動する」について

児童アンケート【事故にあわないようにルールを守り、気を付けて道路を歩いたり生活したりしている】は、児童の安全について自己評価を示す項目です。「している」「少ししている」を合わせて97%の児童が、事故にあわないように、ルールを守り、気を付けて道路を歩いたり、生活したりできています。保護者アンケートでも【お子さんは安全を意識して行動している】について、90%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しています。しかし、教職員アンケートの結果では、「そう思う」「少しそう思う」合わせて73%となっており、教職員としては子供たちの安全意識について課題があると考えていることがわかります。

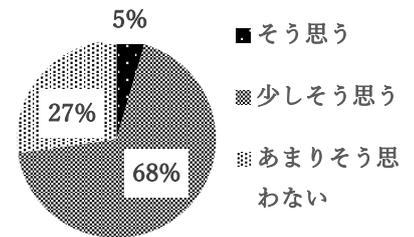
【児童】事故に遭わないようにルールを守り、気をつけて道路を歩いたり、生活したりしていますか。



【保護者】ご家庭で、「安全」を意識できる子どもを育てるための取組を行っている。



【先生】当校の子どもは、「安全」を意識して行動している。



学校では、防災教育や防犯教育、安全教育について、機会を捉えて指導を行ってきました。

保護者の皆様は「地域をあげて子供を守ろう委員会」の取組として防犯パトロールを行い、子供たちの安全で安心な生活のために尽力していただきました。地域の皆様には、町内会の防災・防犯に関係する委員の方々や学校防犯ボランティア巡視員の皆様に、交通指導や見守りにご協力をいただきました。

保護者、子供たちの自己評価が良い数値を示していることは、家庭や地域でのこのような取組の成果の表れと思います。今後も子供たちの安全意識の向上を図る様々な取組につきましてご理解とご協力をお願いいたします。

児童の安全意識を高めるためには、保護者、地域、学校の指導や見守り活動を継続していくことが大切だと考えます。学校では、子供たちに対し、安全に関する知識の確かさや行動の良さを褒めながら、理解できていない点や行動できていない点について、日常の学級指導を中心に指導していきたいと考えます。ご家庭でも、防犯パトロールをした際や、ニュースなどで安全に関する報道があったときなどの機会を捉えて、お子さんとの会話の話題にしなが、今後も継続して場面に合わせた安全対策について具体的な話をしていただければと思います。今後も、保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら、「安全」を意識できる子どもを育てるための取組を行い、安全に対する意識の向上を図っていきます。

(3) 将来の夢、自己肯定感について

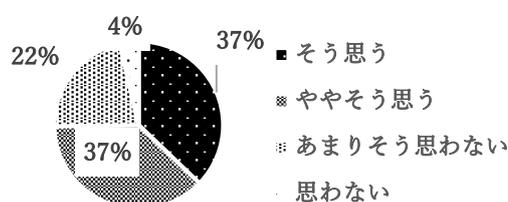
今年度のアンケートでは、児童について【将来の夢があるか】【自分にいいところがあると思うか】という項目を加えさせていただきました。

児童アンケート【将来の夢や目標を持っているか】では、81%の児童が「持っている」と回答しました。保護者アンケート【お子さんは将来の夢や目標を持っている】は、「そう思う」「ややそう思う」合わせて74%、教職員アンケートの【当校の子供は将来の夢や目標を持っている】は「そう思う」「少しそう思う」合わせて86%でした。児童については、学年によっても結果が異なり、発達段階によるものと考えます。コロナ禍の制限が緩和され、校外学習や外部講師による授業の実施により、体験活動や様々な方々との出会いを通して将来の自分の姿を考え、そこに向かって目的を持って学習活動に取り組めるよう指導していきたいと思ひます。

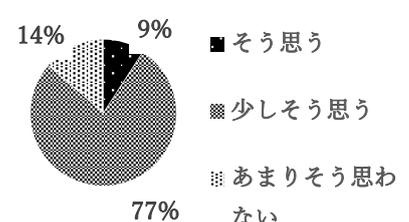
【児童】将来の夢や目標を持っていますか。



【保護者】お子さんは将来の夢や目標を持っている。

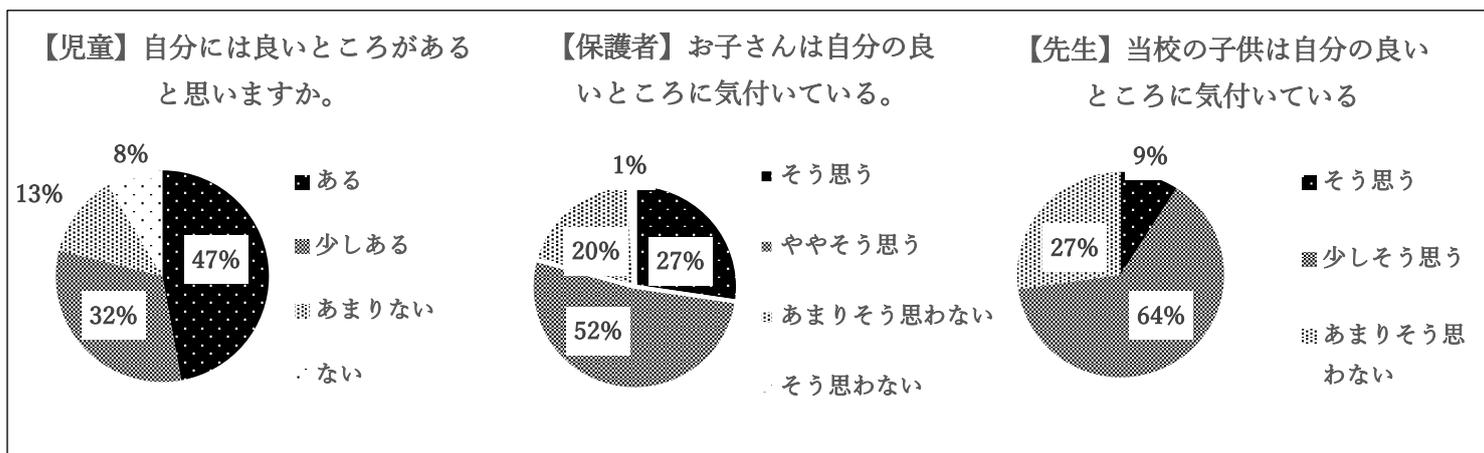


【先生】当校の子供は将来の夢や目標をもっている



児童アンケート【自分には良いところがあると思うか】は、「ある」「少しある」合わせて79%でした。保護者アンケート【お子さんは自分の良いところに気付いている】は、「そう思う」「ややそう思う」合わせて79%でした。教職員アンケート【当校の子供は自分の良いところに気付いている】は「そう思う」「少しそう思う」合わせて73%でした。

【自分には良いところがある（気付いている）】の項目については、児童、保護者、教職員ともに8割に達していない結果となりました。学校では、学校行事や学習活動、児童会活動、委員会活動を通して、子供たちが自主的に活躍する場面を今以上に多く設定し、自己有用感、自己肯定感を高めるよう指導していきたいと思えます。



3 学校運営協議会委員の皆様から

(1) 「基本的生活習慣（挨拶・言葉遣い・早寝・早起き・朝ご飯）を身に付ける」について

- ・挨拶については個人差がある。当然ながら顔見知りの子達は挨拶できている。
- ・どこかの小学校で地域の飼い犬にパトロール中の胴輪みたいな物を付けてワンワンパトロールとかいう呼び名を言っていた事を聞いたことがありました。私も犬の散歩をするので、犬を連れていっていると安心してなのか、元気にこんにちは!!と子供たちから挨拶してくれます。
- ・朝の登校時は挨拶する子が多い。下校時はしないようにみえます。
- ・5, 6年前から「不審者に声を掛けられたら逃げて」の指導から、我々大人が遠慮して声掛けをしなくなった。故に、子供たちからの挨拶が少ない。「知っている大人には大きな挨拶をしよう」との運びになれば、こちらから挨拶しやすくなります。
- ・打ち合わせで学校を訪問した際、児童は気持ちよく挨拶を返してくれます。宮城野小学校の先生方の対応も丁寧で子供たちはその姿を手本にしているものと感じています。市民センター事業で来館する児童は集団でまとまって行動しており、安全を意識していると感じています。
- ・家庭レベルで考えれば答えやすいが、地域レベルとなるとなかなか回答に困る。顔見知りであれば挨拶をしていると思う。巡回パトロールでは、積極的に挨拶する子は少ない印象。知らない地域の人に皆が挨拶するまでには至らない。
- ・マスクをしていていつも見ている子でも近所で会うと誰かわかりづらい時代なので、子供たちからは更に大人は判別しにくいと思えます。大人からどんどん笑顔で挨拶をしてあげないと子供ばかり挨拶しないと言われるのはかわいそう。大人がもっと温かい目で見守ってあげたいです。

(2)「安全に気をつけて行動する」について

- ・通学路があり、左右確認が出来ていると思う。
- ・登下校時、友達と話に夢中になり横に広がって歩いたり、追いかけてっこをしたりしています。その都度、学年に応じた声かけが必要だと思います。
- ・町内会の行事で新入学児童のお祝い会や夏休みに交通安全教室を行っていましたが、コロナ禍によって中止になってしまいました。日常的な取組で子供たちを見守るやり方を考えていくことも今回のアンケート記入で大切だと思いました。近隣の商店、公園等での子供たちの様子を見てみると乱暴な言葉遣いは聞かれないのでその点は安心しています。

アンケートの結果からは、「安全意識を育てる取組」「安全を意識した行動」について良い評価が見られました。一方で【自分からの挨拶】については低い評価でした。

4 まとめ

「基本的な生活習慣を身に付ける」では、児童が考える「できている」という姿と、大人（教職員や保護者）が考える「できている」という姿に、ほぼ違いはありませんでした。年度初めに設定した目標は、概ね達成できました。

挨拶については、よく挨拶ができる児童と苦手な児童との2極化が見られるものの、「元気に」の観点を大切にして、継続して指導に力を入れてきました。今年度も、コロナ禍の影響はありましたが、主体的に挨拶をしようとする児童が多く見られました。

基本的な生活習慣の一つとして新しい生活様式が定着し、児童は「て（手洗い）・ま（マスクの着用）・ね（熱を測る）・き（距離を取る）」を意識しながら、生活しています。しかし、オンラインゲームやSNSによる友達とのトラブルやYouTubeの閲覧のしすぎによる生活習慣の乱れなど、情報機器の使用についての課題が中学年以上の児童の間で見られました。「早寝・早起き・朝ご飯」「言葉遣い」は、健康な生活を送るための基礎となります。今後も、保護者・地域・学校が連携を深め、児童の健やかな成長のためにご協力をお願いします。

「安全に気を付けて行動する」につきましては、交通ルールの遵守や安全に対する理解、意識の高さがうかがえます。今年度は事故もなく、事故0を達成することができました。

今後も災害時や不審者等との遭遇したときの対処を理解し、自分で行動できるよう、児童の安全確保のために安全・防災・防犯教育の充実に努めて参りますので、今後とも保護者の皆様には、「地域をあげて子供を守ろう委員会」などでのご協力をお願いいたします。

最後に、「教育活動に関するアンケート」へのご協力に対し、改めまして心から御礼申し上げますとともに、来年度も本校の教育活動に対し、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。